

第3回東アジア地方政府会合・ 日本アスペンシンポジウム

10/ 17 (水)

2012 The 3rd East Asia Local and Regional Government Congress

2012
10/17(水)

The 3rd East Asia Local and Regional Government Congress

第3回東アジア地方政府会合・ 日本アスペンシンポジウム

「これからの人材育成 ～高まる東アジアの存在感～」



基 調 講 演

テーマ 「グローバル人材とアスペン研究所」



小林 陽太郎

一般社団法人日本アスペン研究所理事長・富士ゼロックス元会長

自分の経験から、リーダーシップの要件を6つ導き出した。一つ目は使命感、二つ目は腹が据わっていること、三つ目に知力、四つ目に体力、五つ目に表現力、そして六つ目に謙虚さである。ウォルター・アイザックソン氏（米国アスペン研究所理事長）も、リーダーシップに一番必要なものは謙虚さで、謙虚さがオープンで寛容な気持ちを生み、そこから新しいものを創造すると言っている。

アスペン研究所は、1949年にアメリカのアスペンで開かれたゲーテ生誕200年祭において、シカゴ大学総長のロバート・ハッチンス氏が、近代社会では瑣末化（オタク化）、専門化が進み、異なる専門領域の間で話が通じなくなっていると指摘し、古典をひも解き、直面している問題と重ね合わせて議論し、対話を重ね、より広い素養や教養をつくり上げ、より良い決定ができるリーダーを育てていくとの呼び掛けに賛同したアメリカのビジネスマンによって作られたものである。

現在、日本では有識者の間でさえ瑣末化が非常に進んでおり、このままでは間違いなく衰退の道を進んでいくだろう。日本の新しい在り方をきちんと世界に見せるためにも、グローバルな人材を育てる必要がある。

しかし、日本のリーダーは小粒になっており、リーダーシップの質は低下している。私はそこで重要な役割を果たせるのがアスペンだと考える。日本アスペン研究所のセミナーには異なる業種の人々が集まり、優れた先生のモデレーションを受けて対話し勉強するので、新しい発見や感動があり、新しい魅力を身に付けることもできる。

そして、最終的には経験が物を言う。近年の日本の若手は内向き志向だが、彼らをどんどん外に出し、海外のいい人材を日本に入れることで、異文化と接触させていくことが大切だ。



パネリスト

白井 克彦 放送大学学園理事長、早稲田大学学事顧問（前早稲田大学総長）

人材育成の根本は、人間としての力、「人間力」であり、アジアのさまざまな国の学生が交流しながら教育を受けていくことが必須である。そうしなければ、共にアジア圏、あるいはグローバルな世界をつかっていくこともできない。

グローバルリーダーにしる、地域をつくっていく人間にしる、今は人材が足りていない。リーダーが中心となり、何人かで集まって力を出していくことができる人材を育てていくことが、高等教育、大学の使命である。

高齢化が猛烈に進む中で、当面は労働人口を若い人たちで支えなければいけない。それには高い能力を持つ人が多くいなければならないので、少数のエリートでどうにかするという問題ではなく、中間層がこれからの社会をどう成り立たせるかにかかっている。



パネリスト

荒井 正吾 奈良県知事

グローバル化時代に生きる人材に最も悪影響を与えているのは、日本の雇用システムではないだろうか。OJT中心の教育訓練でキャリアを積み上げてそれを自己顕示する能力が育たない日本の雇用制度下では、社内で生きるしかないため、グローバルな雇用マーケットに対応しきれない。したがって、日本の社会全体、とりわけ働き方をグローバル化に対応することが重要だ。

また、大学と社会の間に接続問題があると聞く。大学は何のためにあるかということがグローバル化の中で問われている。



モデレーター

渋谷 治美 埼玉大学教育学部教授

アスペンメソッドにおいて、中心になるのは対話である。勝ち負けがあるディベートや、真理や当面のベストの結論を導くディスカッションと違い、対話は相互の人格性を確かめ合い、高め合うところに意味がある。また、その時間を通して自己とも対話することで、その後の振り舞いや考え方が大きな影響を受ける。

最も大事な能力は想像力、連想する力である。連想し、想像することによって、自分の世界がどんどん広まり深まっていく。また、自分がどういう位置に置かれ、何をしなければいけないのかという知見や結論が導かれる可能性も準備されていく。

日本アスペン・エグゼクティブ・セミナー

9月28日(金)～10月3日(水)



第3回東アジア地方政府会合にあわせ、一般社団法人日本アスペン研究所主催の「日本アスペン・エグゼクティブ・セミナー」が奈良県で開催されました。